

事業の実績	<p>【2022年】</p> <p>11月 6日 託麻祭中に産業資料館でVR体験会を実施</p> <p>11月 9日 (18時～19時) 第1回メタバースに関する説明会と体験会 講話 境章 名誉教授</p> <p>12月10日 (13時～16時) 第2回メタバース次世代人材育成事業 ワークショップを実施 講話 株式会社ナレッジコミュニケーション 藤本様</p> <p>【2023年】</p> <p>1月～2月 第一回、第二回の会で興味のある学生に対する個別技術指導 技術指導 経済学部3年 藤岡 君</p> <p>3月21日 (13時から16時) 第3回メタバース次世代人材育成事業 ワークショップを実施 技術指導 株式会社ナレッジコミュニケーション 藤本様</p>
具体的な成果	<p>この事業は、境章先生のゼミ生が、仮想空間で交流するためのメタバースプラットフォーム「cluster (クラスター)」上に、メタバース熊本学園大学、敬愛幼稚園、産業資料館などを構築して運用しているが、構築した学生が3年生と4年生であり、卒業する前に技術継承を行い、次年度以降も継続できるように、次世代の人材を育成する目的で行った。</p> <p>まずは、メタバースに興味がある学生を探す目的で、VR体験会やメタバース説明会、体験会を実施し、学生への広報活動を実施した。ただ、なかなか学生が集まらず、第1回は15名、第2回は8名、第3回は2名の状況であった。その中でも、本事業の目的に賛同し、是非作ってみたいと手を上げる学生が数名きてくれたので本事業が無駄ではなかったと感じた。</p> <p>最終的には、成果報告会を実施する予定であったが、短期間で成果を上げるのは難しく、また、就職活動などの別の予定とも重なりワークショップの開催へ変更した。</p> <p>全2回のワークショップでは、熊本内では数少ない専門家に実際に操作、説明頂いたことで、非常に分かりやすかったが、どうしても時間制限があるため、パソコンに詳しくない学生にとっては、短時間でマスターするには難しい状況であった。そのため、ワークショップで興味のある学生に個別に声をかけ、藤岡君にお手伝い頂き、個別技術指導を行うことで、補足する方法を行った。ただ、それだけでは不十分で、相応のスペックがあるパソコンを学生が常時使える環境と構築する時間が必要であることも分かった。</p> <p>次年度以降に本事業を無理なく高い実績を上げるように継続するには、常時相応のスペックがあるパソコンとネットワーク環境を準備し、日々新しくなる知識や技術、ツールの情報収集を行い、十分な指導時間が必要であることが分かった。技術支援は、熊本県情報サービス産業協会やKumaMCN、Code for Kumamotoなどに協力を依頼するのが一番よいが、学内に支援体制と活動する場所は設ける必要があると感じた。</p> <p>最後に、本事業にご協力頂いた沢山の人に感謝し、今回をきっかけにして活躍する学生が現れることを期待する。</p>